

青少年交換プログラム

2012～2013年度 派遣学生募集要項

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面中央RC)

このプログラムは、短期間の海外研修や海外生活体験といった表面的な交流とは異なり、約1年間を派遣先の国のホストファミリーの家(3-4軒の家庭)に滞在し、それぞれの家族の一員として生活を共にし、現地の高校にも通って多くの友人や人々との触れ合いを経験するというものです(このほかに夏休み限定の短期のプログラムがあります)。

異なる言語の国や地域に高校生という多感な時期に単身で派遣された当初は誰もが、十分なコミュニケーションができないため、辛く寂しい時期を経験します。しかし多くの若者はこの困難を乗り越え1年後には多くの友人を作って一回りも二回りも成長し、逞しくなって日本に戻ってきます。

青少年交換プログラムは、ロータリアンの子弟らに参加できる、唯一のRI正式プログラムです。ロータリアン自身のお子様、お孫さん、親戚の子供らで派遣時に高校生であれば誰でも候補生になれます。

クラブの各位におかれましては、プログラムの趣旨、目的をご理解くださり奮って参加されますよう、そして次世代を担う青少年の育成にご協力くださるようお願いいたします。

- 1 主な交換相手国：アメリカ、カナダ、フランス、台湾、オーストラリア、ベルギー、スイス、フィンランド、スウェーデン、ポーランド など。
- 2 交換期間：2012年8月出国—2013年6,7月帰国
(短期交換は2012年7、8月出国—同年8、9月帰国)
- 3 交換内容：それぞれの派遣先のご家庭でホームステイして現地の高等学校に通います。ホームステイ先や高校で現地の言葉を学び、クラブ活動、授業に出席します。また受け入れロータリークラブの例会にも参加しその国の文化や習慣を学びます。

- 4 費用：プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費(高校)の全額および少々の小遣いはホストロータリークラブが負担します。
- 5 応募資格：①出発時、16—18歳であること。②健康で礼儀正しく、水準以上の学力をもち外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は学年で1/3以内の者(在学高校により差があるので、相談に応じます)③学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可がえられる学生であること(派遣中における単位取得の可否、単位数については、通学中の学校にご確認ください)④RCの推薦が得られる学生であること。
- 6 応募期限：長期交換 2011年9月30日(金) 必着
短期交換 2012年4月まで随時
応募方法：応募者はスポンサークラブを通じて地区青少年委員会またはガバナー事務所にお申し込みください。申込書はガバナー事務所に請求ください。原則として派遣学生を送り出したロータリークラブは交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

お問い合わせ：国際ロータリー第2660地区
ガバナー事務所(担当 今井)
Tel 06-6264-2660
Fax 06-6264-2661
〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6F